



本校の授業改善に向けた視点

指導内容と指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	小中一貫教育の取り組みと授業への工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器、タブレット端末を活用し、生徒の理解度を向上させる。 ・見通しをもたせるために、授業のねらいや目標の明確化を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語・数学における少人数指導を実施する。 ・長期休業中に補充教室を実施する。 ・定期考査に向けて学習意欲を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートを実施し、授業改善を図る。 ・観点別学習状況把握のために多くの評価資料を収集する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査を実施し、指導方法、学習方法の改善に活かす。 ・年3回、信頼される評価・評定の在り方に向けた校内研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の校区別協議会を通し、小学校と中学校での共通理解を図る。 ・小学校と中学校の特色の違いの理解し、中1ギャップの軽減を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査前の学習計画を立てさせ、自身の学習方法を確立できるようにする。 ・三者面談で保護者と学習への取り組み方を共有・連携を図る。